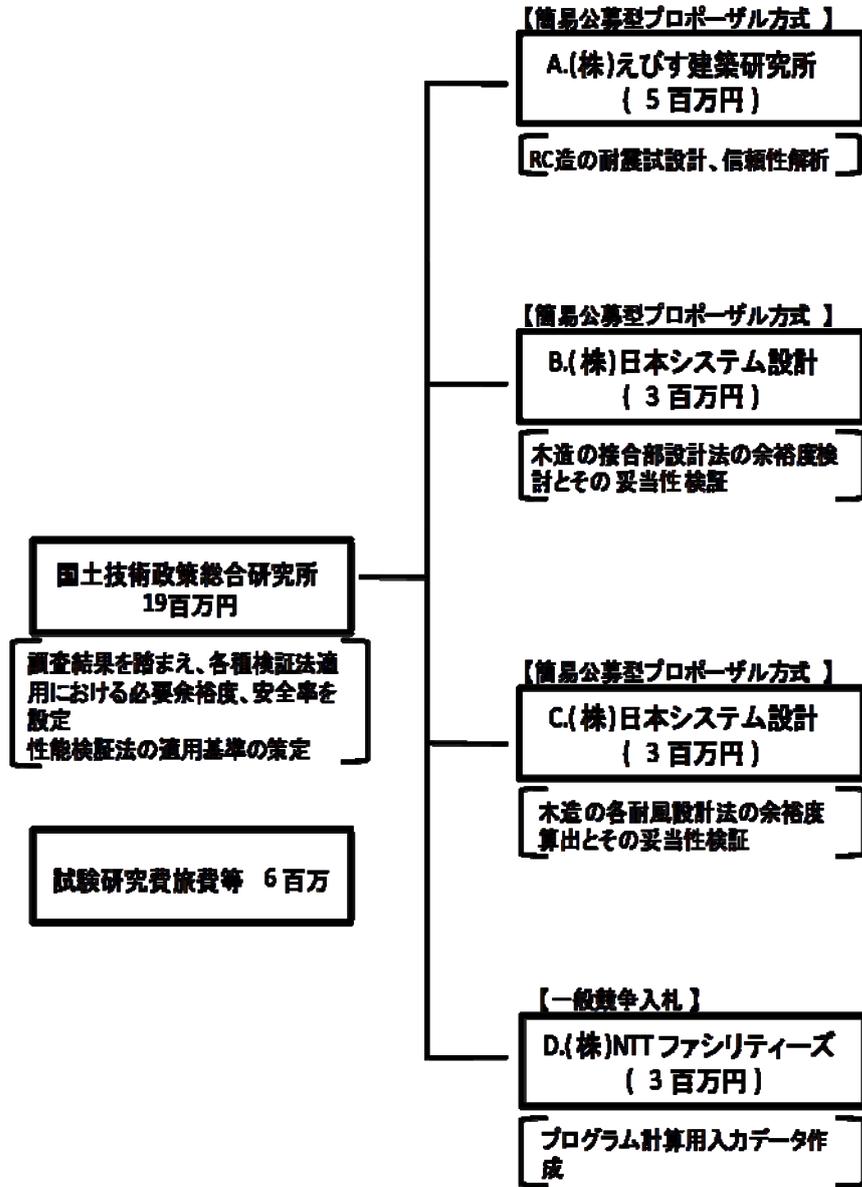


行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	建築物の構造安全性能検証法の適用基準の合理化に関する研究		事業開始年度	平成19年度		作成責任者
担当部署	国土技術政策総合研究所		担当課室	構造基準研究室		室長 小豆畑達哉
会計区分	一般会計		上位政策	技術研究開発の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	建築基準法施行令第三章第八節 構造計算		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	建築物の構造安全性能に関する各種検証法の適用基準の合理化に向けて、それぞれの背景にある余裕度や安全率について調査、検討を行い、これらを合理的に設定できるようにして、恣意的判断や過剰設計を排除し、さらに構造設計に自由度を確保することを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	各種検証法の背景にある余裕度や安全率の実態を把握するため、鉄筋コンクリート造及び木造の建築物について、試設計モデルを数種類作成し、各種構造計算法による計算結果の相互比較や計算仮定の設定条件に応じた計算結果のばらつき程度の調査を行う。さらに、余裕度の定量化のため、中低層規模の建築構造性能の検証において、これまで最も使用実績を有すると思われる保有水平耐力計算の背景にある余裕度を、保有水平耐力計算により設計された建築物モデルに関する、時刻歴応答解析を用いた信頼性解析により検討する。このような検討の結果を、最終的に構造安全性能検証法の適用基準として取りまとめる。					
実施状況	本事業は、平成19年度から平成21年度の3ヶ年で実施する。 平成19年度は、鉄筋コンクリート造(基礎構造部分を含む)及び木造について、各種耐震設計法の適用実態調査、余裕度算出とその妥当性検証等を実施した。 平成20年度は、構造計算における偏心率、剛性率のクライテリアの合理性・妥当性の検証、信頼性解析等を実施した。 平成21年度は、過去2年の成果も踏まえ、構造計算における必要余裕度等について検討を重ね、結果を取りまとめた。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	28	26	19	-	-
	執行額	28	25	19		
	執行率	98.7%	95.6%	99.1%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> ・支出先(業務請負者)選定の妥当性については第三者機関である技術提案評価審査会により審議していただいている。 ・業務着手時には業務計画書の提出を求めるとともに、打合せや完了時に行う検査により業務の実施状況を把握している。 ・業務の主たる部分に係る再委託は禁止されているところであるが、主たる部分以外の再委託については、軽微なもの(コピー、印刷、製本、資料の収集・単純な集計、翻訳、データ入力、計算処理、トレース、模型作製等)を除き、再委託承諾申請書を求めており、支出先・用途を確認している(本事業においては、再委託承諾申請書を要する再委託はない)。 ・支出の効果については、業務打ち合わせ及び納品後の検査を通じて、成果水準を的確に把握している(本事業については、当初の目的を達成する成果が得られている)。 ・進捗状況に合わせて随時打合せを行うことにより、進捗管理を適切に行い、事業内容の精度・深度を十分に深めている。 				
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> ・支出先については、簡易公募型プロポーザル方式により公募を実施し、競争性の確保に努めており、今後も競争性の確保に努めるものとする。 ・業務発注を計画するにあたっては、あらかじめ検討項目、調査対象範囲等について十分検討を行い、簡易な調査等については一般競争入札を採用し、効率的な執行に努めており、今後も業務発注の効率化に努めるものとする。 				
予算監視の効率化	【事業廃止】 一定の成果が得られたことから廃止。					
補記	【予算科目】					
	<ul style="list-style-type: none"> ・133 技術研究開発推進費 ・13 科学技術振興費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・13054-2122-08 試験研究旅費 0.7 百万円 0.7 百万円 ・13054-2122-08 外国旅費 0.3 百万円 0.3 百万円 ・13054-2123-09 試験研究費 18 百万円 18 百万円 <p>※四捨五入しているため、合計値があわない場合がある。</p>					

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。使
 途と費目の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)えびす建築研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	諸経費	1.9			
人件費	業務担当者人件費(RC造耐震試 設計、信頼性解析)	1.6			
その他	技術経費	0.7			
その他	直接経費、消費税	0.3			
計		4.5	計		0
B.(株)日本システム設計			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	諸経費	1.1			
人件費	業務担当者人件費(接合部設計法 の余裕度検討等)	1.0			
その他	技術経費	0.6			
その他	直接経費、消費税	0.2			
計		2.9	計		0
C.(株)日本システム設計			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	諸経費	1.1			
人件費	業務担当者人件費(各耐風設計法 の余裕度算出等)	1.0			
その他	技術経費	0.6			
その他	直接経費、消費税	0.2			
計		2.9	計		0
D.(株)NTTファシリティーズ			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	業務担当者人件費(プログラム計 算用入力データ作成)	1.5			
その他	諸経費	1.0			
その他	技術経費	0.3			
その他	直接経費、消費税	0.2			
計		3.0	計		0